

## 月の休日在宅医・休日診療所

	1 日(金)	2 目(土)	3 目(目)	10日(日)	11日(月)	17日(日)	24日(日)	31日(日)
外科	加藤病院 (松本町) ☎(41)6211	いくた整形外科 (中山町) ☎(48)5655	小林記念病院 (新川町) ☎(41)0004	<b>堀尾医院</b> (新川町) ☎(48)0633	作塚杉浦クリニック (作塚町) ☎(42)5327 いくた整形外科 (中山町) ☎(48)5655	長田医院 (源氏町) ☎(42)1200	小林クリニック (立山町) ☎(43)0388	あおい皮7科クリニック (白砂町) ☎(91)7201
内科·歯科	<ul><li>内科 休日診療所 (保健センター) ☎(48)4141 9時~12時/13時30分~17時</li><li>歯科 休日歯科診療所 (前浜町4-22) ☎(46)3700 9時~12時</li></ul>							
そのほか	耳鼻咽喉科 <b>奥田医院</b> (若宮町) ☎(41)1025			耳鼻咽喉科 <b>奥田医院</b> (若宮町) ☎(41)1025		耳鼻咽喉科 ふじうらクリニック (二本木町) ☎(43)4567 眼科 オオノ眼科クリニック (野田町) ☎(46)3733	眼科 田中眼科 (伏見町) ☎(43)5331	眼科 田中眼科 (伏見町) ☎(43)5331

※17時以降、夜間に急病でお困りのときの病院案内は救急医療情報センター ☎(36)1133 ※休日在宅医の変更がある場合もあります。お出掛けの前に医療機関でお確かめください。

## 1月の

# ぎる。図書館



問合せ

図書館本館 ☎(41)0894 中部分館 ☎(41)1980 南部分館 ☎(42)8211

#### おひざにだっこ

内容 読み聞かせやわらべうた、読 書相談など

本館 1月7日(木)、21日(木)①10時~10時20分②10時30分~11時

対象 ①1歳以下の子と保護者②2 歳以上の子(就園前)と保護 老

**南部** 1月13日(水) 10時30分~ 対象 就園前の子と保護者

#### 絵本の時間

**内容** 絵本の選び方、読み方、わら べうたなど

対象 1歳未満の子と保護者 本館 1月8日金 10時30分~ 南部 1月15日金 10時30分~

#### おりがみたいむ

南部 サルをおろう

とき 1月6日(水) 16時~

**内容** かんたんなおりがみと絵本の 紹介

#### ギャラリー

中部 習字カレンダー作品展 とき 1月9日出~28日休

#### おはなし会

本館 かざぐるまのおはなし会「お おあたり!」

とき 1月9日出 10時~

内容 絵本「おおあたりぃ〜」「お もちぶとん」、紙芝居「なに がつれるかな」ほか ばぁばのおはなし会「今年は

ばぁばのおはなし会「今年は おさるでござる」

とき 1月23日(土) 10時~

内容 絵本「さるのひとりごと」、 パネルシアター「さるかに合 戦」、おたのしみ「折り紙さ るとかに」ほか

中部 のびるよ、のびる

とき 1月16日(土) 10時30分~

内容 絵本「わゴムはどのくらいの びるかしら?」、紙芝居「た こちゃんとたこ」、おたのし み「ゆらゆらタコさんをつく ろう」ほか

南部 おさるがいっぱい

とき 1月24日(日) 10時30分~

内容 絵本「タンタンのしろくまく ん」「おさるのジョージスキ ーをする」、おたのしみ「く るくるたこをつくろう」ほか

#### えほんといっしょに

南部 ペンギン

とき 1月20日(水) 15時30分~

**内容** テーマにあわせたおりがみを 折り、絵本の読み聞かせを行 います

### 毎月第3日曜日は「へきなん子ども読書の日」

#### 図書館司書がオススメする



## 子どもはみんな問題児。

中川 李枝子/著 新潮社

うちの子に問題はないかしらと悩むお母さん。まずはこの本の目次を読んでみてください。「子どもはたいがい臭いものです」とか「『お母さんのお腹には切った跡がある』って、それが自慢なのよ」など、思わず笑ってしまう言葉が並んでいます。1つひとつの章は独立していて、しかも短いので興味をひかれるものから読んでみてください。家事や育児の合間にも読めます。

著者は、人気の絵本『ぐりとぐら』の作者としても有名な中川李枝子さん。作家になる前には保育士をされていて、数多くの子どもを預かった経験をお持ちです。本書には中川さんが見てきた、

「すばらしい問題児」たちのありのままの姿がいきいきと描かれています。そして、「いろんなお母さんがいて、いろんな良いところがある」と、子育てに悩むお母さんたちをやさしく励ますメッセージがあふれています。

子育て中のお母さんやお父さん、子どもと本に 関心のある人に読んでもらいたい1冊です。

問合せ 南部分館